

第 88 回大阪地方メーデー宣言

本日、私たちは第 88 回大阪地方メーデーを開催した。

尊い命を奪い甚大な被害をもたらした東日本大震災から 6 年、熊本県を中心とする九州地震から 1 年が経過した。今なお多くの方々が、避難生活を余儀なくされているなど不自由な生活を強いられていることを、私たちは今も忘れてはならない。

連合大阪は、被災地の復興・再生に向けて、仲間と連携し、全力で取り組んでいくとともに、震災を決して風化させないように、さまざまな機会を活用し発信力を強化する。

今、日本の社会は、超少子高齢化・人口減少社会に突入し、経済・社会の大きな変革とうねりの中で、さらなる格差の拡大や生活不安が加速している。

このような中、私たちが全力で取り組んだ 2017 春季生活闘争では、4 年連続のベアを達成し、多くの中小組合では大手組合を上回る成果を勝ち取っている。加えて非正規労働者の賃上げにも前進があり、連合が目指す「底上げ春闘」の手ごたえを感じる闘いとなった。こうした成果が、今なお、厳しい交渉を継続する仲間への後押しとなるよう、今後もクラシノソコアゲキャンペーンと連動し、取り組みを強化していく。

また、長時間労働是正や同一労働同一賃金実現などの「働き方改革」については、労働組合のない職場で働く人も含め、すべての働く者の立場に立った「真の働き方の改革」となるよう、全力で取り組みを進めなければならない。

一方、世界に目を向けると、格差や貧困の拡大と、保護主義の台頭、さらには、頻発するテロリズムや北朝鮮のミサイル発射や核実験などによる世界を挑発する行為によって、人々の不安はより高まっている。

そして、国内に目を向けても、差別を助長する排他的な言動が横行するなど、社会の分断が進んでいる。とりわけ、この大阪でもヘイトスピーチによる人種差別的言動が横行している。

こうした情勢であるからこそ、私たちは、社会的連帯を強化し、持続可能な包摂的な社会の構築に向けた取り組みを強めていくことが重要である。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。そして長時間労働を是正し、働きがいのある人間らしい労働を追求した、8 時間労働制の原点の日でもある。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）や諸外国の仲間との連帯・団結で、自由と平等、民主主義と平和、人権を守り抜くためにすべての働く者の総力を結集し、「働くことを軸とする安心社会」をこの大阪で実現していく！！

以上、宣言する。

2017 年 5 月 1 日

第 88 回大阪地方メーデー